

厚生労働省は、「働き方・休み方改善ポータルサイト」を運営しています。このサイトは、企業や社員が「働き方」や「休み方」を自己診断することで、働き方・休み方の見直しや改善に役立つ情報を提供する目的で設置されています。今回はこのサイトについてご紹介いたします。

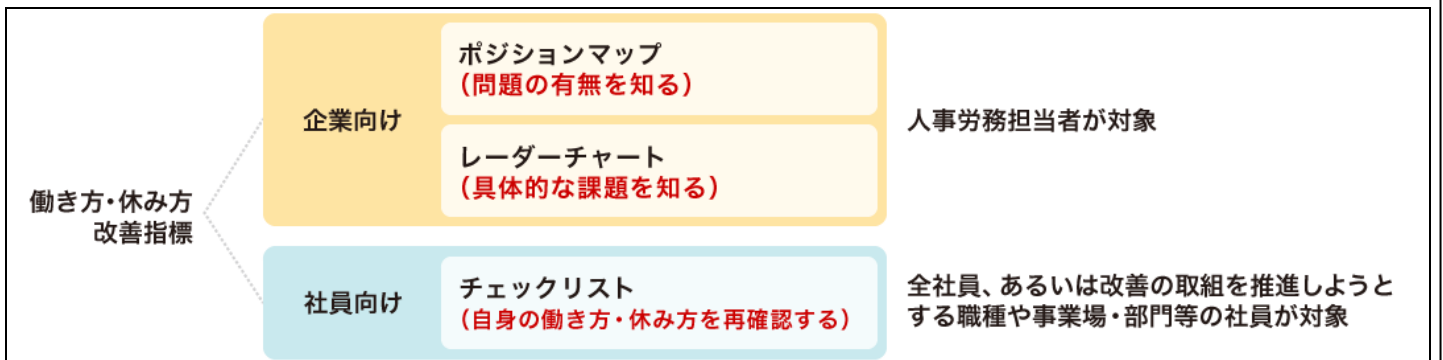
**働き方・休み方改善ポータルサイト**

厚生労働省で運営している「働き方・休み方改善ポータルサイト」は、企業や社員が「働き方」や「休み方」を自己診断することで、働き方・休み方を「見える化」し、その改善のヒントを見つけられるサイトです。

**注目情報**

- ☑ 「働き方改革実践ノウハウ獲得セミナー」を開催します。🔗
- ☑ 「働き方・休み方改革シンポジウム」を札幌、東京、横浜、名古屋、大阪、岡山、福岡、の7都市で開催します。🔗
- ☑ 「特別な休暇制度導入・活用セミナー2016

「働き方・休み方改善指標」を用いることで、長時間労働や年次有給休暇に関する状況を把握しやすくなります。この指標の構成は、次のとおりです。



適切な労働時間で働き、ほどよく休暇を取得することは、ワークライフバランスを実現し、仕事に対する社員の意識やモチベーションを高めるとともに、業務効率の向上にプラスの効果が期待されます。社員の能力がより発揮されやすい環境を整備することは、企業全体としての生産性を向上させ、収益の拡大ひいては企業の成長・発展につなげることができます。

## 企業向け自己診断

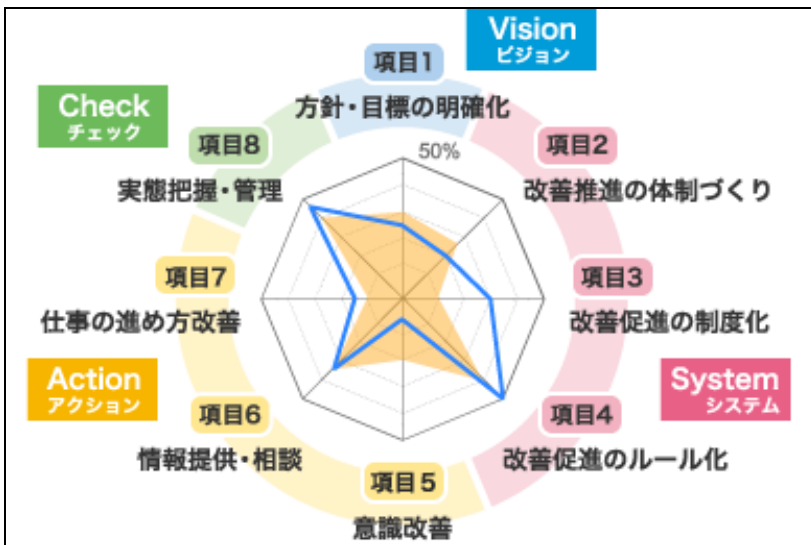
働き方・休み方改善ポータルサイトの企業向け自己診断に用いる働き方・休み方改善指標（企業向け）は、企業の人事労務担当者が労働時間や休暇取得の実態や、これに関連する自社の取組みや制度を再確認するための指標であり、その後の対策を検討する際に活用することを目的に作成されています。

この指標は「ポジションマップ」と「レーダーチャート」の2つで構成されています。

### <ポジションマップ（イメージ図）>



### <レーダーチャート（イメージ図）>



働き方・休み方の見直しや改善に是非ご活用ください。

長時間労働や休暇が取れない生活が常態化すれば、メンタルヘルスに影響を及ぼす可能性が高くなり、生産性は低下します。また、離職リスクの上昇や企業イメージの低下など、さまざまな問題を生じさせることにもなります。社員のために、そして企業経営の観点からも、長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得促進が求められています。

### <個別相談の実施>

次世代法に関する「行動計画の策定・届出」「認定・認証の取得」などについて、ご要望をいただければ、次世代育成支援対策推進員（特定社会保険労務士）がお伺いして個別相談にお応えいたします。お気軽にご連絡ください。

神奈川県経営者協会 TEL 045-671-7060